

社会人対象講座 キャリアアッププログラム

Basic subject Career Up Program

広島経済大学キャリアアップ・プログラム・メールマガジン 第107号(2014.01.09 発行)

なお、本メールが不要な方は career-up@hue.ac.jp までご連絡ください。

新年、明けましておめでとうございます。

本年も引き続きキャリアアップ・プログラム(CP)及び、カルチャー講座(CS)を宜しくお願いいたします。

現在開講が決まっております講義、講座につきましては追加受付もできますので、下記の『3学期 CP/CS の開講について』をご覧くださいまして、お申込みいただけましたら幸いです。



【目次】

- ・巻頭言.....広島経済大学 経済学部
経済学科 教授 渡辺 昌彦
- ・学内見聞録
- ・3学期 CP/CS の開講について
- ・エッセー.....4200m 上空から Packer Taka
- ・CP/CS に関する、ご質問やお問い合わせ

■巻頭言

広島経済大学 経済学部
経済学科 教授
CP コーディネーター
渡辺 昌彦

「後継枝」育成失敗

四国の実家で母がやっていた富有柿の木の手入れを本格的にやりはじめて昨年で5年が終わりました。昨年もおかげさまで大きな自然災害もなく、良い実の収穫ができ親戚や母がお世話になっている知人に配ることが出来ました。

しかし昨年冬の剪定で大失敗を犯しました。ご承知のように剪定には主に以下のような目的があります。

1. 夏場の日当たり、風通しを良くして実の成長を助けるとともに病害虫の被害を防ぐために無駄な枝を取り除く。
2. 当年に実を収穫する枝を確保しながら5年～10年先を見据えて新しい枝を育成する。
3. 作業をしやすいように樹高を調整する。
4. 養分がいきわたりやすいように樹を横に伸ばしすぎない。

大失敗をしたのは2.についてです。一昨年の剪定で枝を残しすぎて夏場に日当たり、風通しが悪くなり、かなりの枝を整理する羽目に陥りました。その反省もあり昨年は思い切って枝を整理しました。おかげで樹形も非常にすっきりしてその時は満足しましたが、よくよく見てみると将来に備えて育成していた2年もの、3年もの枝を相当数、切ってしまったのです。

今、成果を出してくれている枝も年々老化して成果は少ずつ減っていきますし、いずれは枯れてしまいます。それに備えて新しい枝を育てる必要があるのですが、一枝前？（一人前）の枝に成長するには5年～10年の長い期間が必要です。それに備えて育てていた若枝を切ってしまったのですからショックです。その気になって良く見てみると老化して弱りつつある古い枝が、たくさんあります。

考えてみると果樹の剪定も企業など様々な組織の後継者育成と通じるものがあります。後継者を育成するときには以下のようなことを考慮しながら実行することになると思います。

1. 組織の将来のあり方（ビジョン）を明確にし、それを全員で共有する。
2. 当然、現時点での成果は上げる必要があるので、今の戦力は大切にしながらフル活用する。
3. そのビジョンにふさわしい人材を着実に育成していく。

これを着実に実行して人材を育てるためには、時間がかかりますし辛抱、我慢が必要です。私がやったような一時的な感情で動くことは絶対にやってはいけないことだと思います。もし、それをやったら組織全体の士気が低下し十分な成果が上げられないばかりか、最悪の場合行き詰ってしまいます。今の時代、「必要な人材は育てるのではなく引っ張ってくれば良い」という考えもあるでしょうが、これでは組織に対して十分な忠誠心が養われるかどうか疑問が残ります。トヨタが世界的な企業に成長し、且つさらなる発展を遂げようとしているのは色々な要因があるでしょうが、人材の育成（新陳代謝）が非常にうまくいっていることも大きな要因ではないでしょうか。

私も学生対応には、これまで以上に性根を据えて取り組みたいと思っています。

また柿の手入れについても今年の冬の剪定作業は昨年の失敗を忘れず、性根を据えて新しい枝を育成することを念頭にしっかりやりたいと思います。

（それにしても）

冬場には寒肥をやるのも大きな仕事です。肥料は農協から買うのですが一袋 20Kg なのです。重いので腰が痛くなります(値段が高いのでなおさらですが)。どういう理由で 20Kg にしているのかは、よくわかりませんので推測ですが生産者側の論理だと思います。これは何十年と変更がありません。

今の時代、農業の担い手は大半が 60 歳を超えた人々です。この重さはこたえます。私のほとんどの知り合いが腰が痛いと言っています。

コスト的に高くつくかもしれませんが、せめて一袋 10Kg にできないでしょうか。「生産者本位」でなく「消費者本位」でお願いしたいものです。

■学内見聞録

本学の HP に掲載してある記事をご紹介します。生き活きた明るい学生の表情がうかがえます。

URL をクリックして、本学の学生たちの様子をご覧いただければと思います。

お仕事等の気分転換にご覧ください。

- 【12/16】 若旅促進プロジェクトが鹿児島カレッジ成果報告会に参加しました
<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/koudoukan/news/topics/0000007297.html>
- 【12/18】 留学生と日本人学生のクリスマス会実施(国際交流ラウンジ)
<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/abroad/news/news/0000007268.html>
- 【12/2～19】 キャリアセンター進路・就職支援プログラム「企業研究セミナー」を開催しました
<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/career/news/news/0000007255.html>
- 【12/21】 2013 年度後期交換留学生、祇園公民館 ぎおん遊び隊としめ縄づくり
<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/abroad/news/news/0000007284.html>
- 【12/21】 子ども達を守ろうプロジェクトがクリスマス会を実施しました
<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/koudoukan/news/topics/0000007295.html>

■3 学期 CP/CS の開講について

教室の割り当てが決まりましたのでお知らせします。1 月 20 日 月曜日から順次開講しますので、お申込みいただきました方は講義の日程をご確認ください。(1 月 23 日は本学創立記念日の為、講義はありません。)

また、当日は本学立町キャンパス正面入り口、または裏口から入られ、建物中央部にエレベーターがありますので、CP 受講の方は 4 階へ、CS 受講の方は 11 階へお上がり下さい。エレベーターを降りられますと案内書きに従って教室へお入りください。講義終了後は、セキュリティのため、表入口(電車通り側)はシャッターが下りていますので、裏口(本通り方面側)からお帰りください。

【追加お申込み】 <http://www.hue.ac.jp/lecture/careerup/procedure.html>

【CP】

CP 3学期 開講状況と使用教室				
曜日	講義名	講師	受講数	教室
月曜日	マーケティング演習	細井 謙一	20	141教室
火曜日	日常生活で役に立つ経済	新垣 繁秀	9	141教室
水曜日	確率・統計の基礎	前川 功一	8	142教室
	キャッシュフロー・マネジメントの基礎	小谷 幸生	11	141教室
木曜日	企業財務と証券投資の基礎	重本 洋一	5	142教室
金曜日	東南アジアの資本市場	糠谷 英輝	6	141教室
	日本の財政破綻と金融政策	増原 義剛	10	142教室
		受講者数	69	

◇ 月曜日…1/20,1/27,2/3,2/10,2/17,2/24

◇ 火曜日…1/21,1/28,2/4,2/18,2/25,3/4

◇ 水曜日…1/22,1/29,2/5,2/12,2/19,2/26

◇ 木曜日…1/30,2/6,2/13,2/20,2/27,3/6

◇ 金曜日…1/24,1/31,2/7,2/14,2/21,2/28

【CS】

CS 3学期 開講状況と使用教室				
曜日	講座名	講師	受講者数	教室
水曜日	欧州鉄道の魅力を探る ドイツ・オーストリア・スイス・フランス・アメリカ編	竹林 栄治 田中 泉 丹羽 啓一	8	11階 会議室

◇ 水曜日…1/22,1/29,2/5,2/12,2/19,2/26

■エッセー

4200m 上空から

Packer Taka

セスナ機を一人のパイロットが操縦している。操縦席にある計器類は、作動しているのか分からない。俺はパラシュートを背負っているから良いものの、20～30年は現役で飛んでいるようで、決して命を預ける気はしないポンコツセスナ機だ。

翼はギシギシと音をたて、今にも外れて飛んでいきそうだ。俺たちが乗った後ろには椅子席が無く、トラックの荷台に座らされているようだ。1組2名(インストラクターと)のペアで4組が乗った。セスナ機は離陸し、45度の角度で急上昇して行く。エンジンから火を噴きそうな高回転のエンジン音だ。このセスナ機で正直、この角度で何処まで上空に上がって行くのだろうかと言う不安はあった。しかし、俺たちが地上へ戻る方法は一つしかない。セスナ機から落下して地上に戻るしか選択肢は無いのだ。

俺と一緒に乗り込んだ4組の中には恋人同士もいた。女性はかなり緊張していたが、インストラクター達は機内で俺達の緊張をほぐすため、色々話かけてくれたり、『Yeay!』『Whooh!』などと奇声を発するよう勧めてくれた。緊張をほぐす会話で俺を含め全員が緊張感もほぐれ、落下地点に着くとパイロットから合図で、次々に降下口から落下していった。

落下時には飛行機の外にある乗降用のステップに足を掛けてはいけないと言う指示。落下時にステップに足を掛けると飛行機に身体が当たり事故につながるからだと思う。ちょっとしたことが大参事になるスポーツだ。飛行機の外に足を

ブランと垂らすと、地上の家が小さく見える。俺は『Whoo～！』ひと声奇声を発し、前のめりになると俺達はセスナ機から落下していた。

身体は前へくるり、くるりと1回転、2回転と回る。その時の姿勢は胸のベルトを両手で掴んでいる。しばらくすると落下姿勢が安定してきて腕を広げろと指示が出た。俺はスーパーマンのように腕を前に押し出すとインストラクターから腕を身体の斜め後ろまで下げられた。

身体全体に空気抵抗があり、落ちている気がしない。『俺は空を飛んでいる！？！』と何故か余裕が出てニヤリとほほ笑む。『気持ちエエ～』とつい声を出してしまう。実際には地上4200mから落下しているのだが、飛んでいるような気がして最高に気持ち良かった。NHKでパラグライダーにプロペラを付けた簡易飛行機で渡り鳥と一緒に越冬地へ旅する番組があったがそれを思い出した。

最高に気持ちの良い瞬間だった。しかし、なぜ俺はオーストラリアのシドニー郊外まで来て4200m上空のセスナ機から落ちているのだろうか？

This story is to be continued.

■CP/CSに関する、ご質問やお問い合わせは下記の連絡先へ、ご遠慮なくご連絡ください。

731-0192

広島市安佐南区祇園五丁目 37-1

広島経済大学

教育・学習支援センター 教育支援課

お問い合わせは電話番号(082)871-9345 または E-mail career-up@hue.ac.jp どうぞ。

HUE 広島経済大学
CAREER UP PROGRAM